

資料 1

【気高地域】 地域振興会議を振り返って ※この資料は提出された意見をまとめた案です。

項目	意見
組織の形態（会議の回数、委員の人数、委員構成など）について	<p>【会議の回数】：年6回程度を基本にして、本庁からの情報提供、意見集約する機会の設定、地域の状況に応じた議論をするために支所で柔軟に対応できる回数がよい。</p> <p>【委員の人数】：現行の12名で概ねよいが、もう少し少ない人数の10名程度でもよい。</p> <p>【委員構成】：現在の構成でよいと思う。専門分野に特化するとか会議の目的とすることに鑑みて再編してはどうか。肩書きの記載をなくし、様々な立場の方から積極的に発言できる構成がよい。</p>
会議で取り扱う議題・内容について	<p>○全市的な共通議題が少なく、支所からの議題提供、情報提供が多い傾向にあった。</p> <p>○このほか、気高地域のまちづくり構想等の進捗状況、課題解決に向けた意見集約、意見交換の場、地域の課題解決につながるための先進地視察、市の重要施策・新規施策・事業の内容及び進捗状況説明が議題・内容の主なものであった。</p>
地域振興会議の成果	<p>○地域振興ビジョンの進捗管理や意見集約などに一役担うことができた。</p> <p>○気高のまちづくりの進捗状況について、情報を得られる有意義な会議であった。</p> <p>○地域内の日々の活動や地域課題など幅広く聴けたり議論したりでき、視野が広がった。</p> <p>○鳥取市の施策の考え方について、理解することができた。</p> <p>○地域を取り巻く様々な変化について、いち早く情報の提供を受けたことで、次への対応に活かすことができた。</p> <p>○気高町のまちづくりの進捗状況について情報を得ることができ、地域まちづくりについて基本計画、実施計画の検討もできた。</p>
地域振興会議の課題	<p>○市からの事業説明や意見集約に終始することが多く、委員からの発案を実現させるための話し合いができなかった。</p> <p>○発言した意見や提案は反映されているのか疑問に思う。</p> <p>○年間のテーマが決まっていないので成果が見えにくい。テーマが場当たりの気がする。</p> <p>○会議の経過など町民にもっと周知すべきだと思う。</p> <p>○基本的には受け身で決定権はないのは理解できるが、地域課題や困りごとを伝えたり、次回以降の会議への提案などスムーズな仕組みづくりが必要。</p> <p>○地域の課題について、議論するが予算的な裏付けもなく、具体的な政策として反映できることが少ない。市長や教育長などに提言や要望を出しにくい。</p> <p>○全市共通の課題、地域の独自課題の両方を意識しながらの協議が必要。関連地域を含む広域的な視野で課題解決に柔軟に取り組む必要がある。</p> <p>○会議で集約された意見等がその場限りで終わるのではなく、本庁からの回答として、届けられることで意味がある。</p>